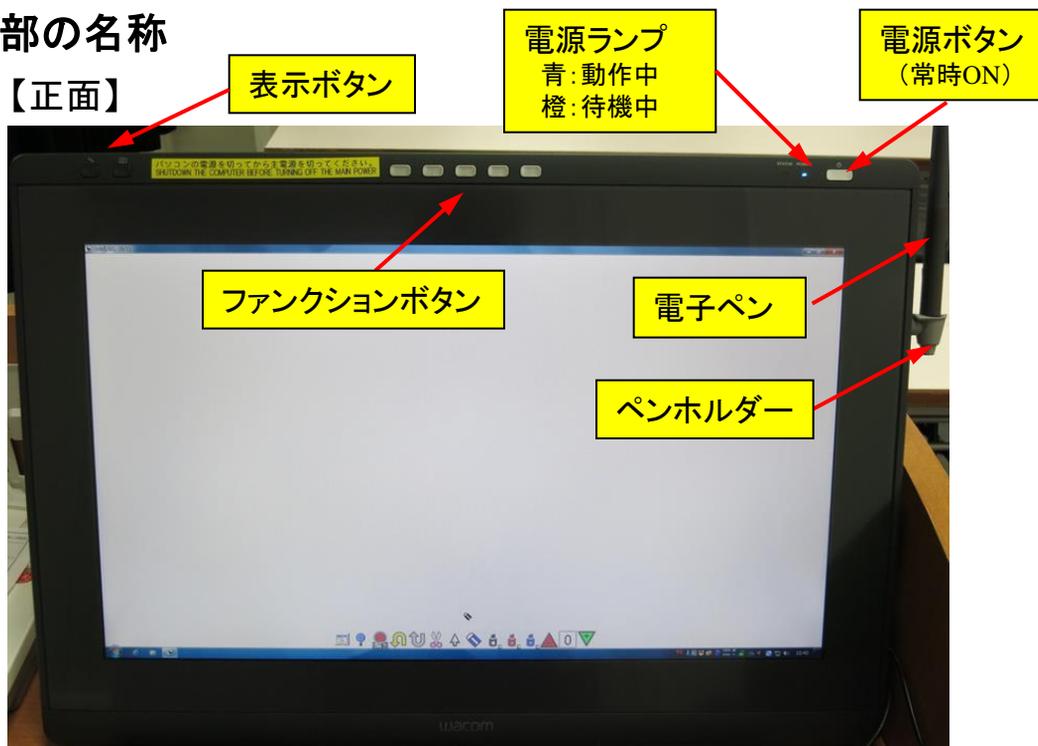


5. タブレットモニター の 操作 (白板ソフト)

I モニター本体の使い方

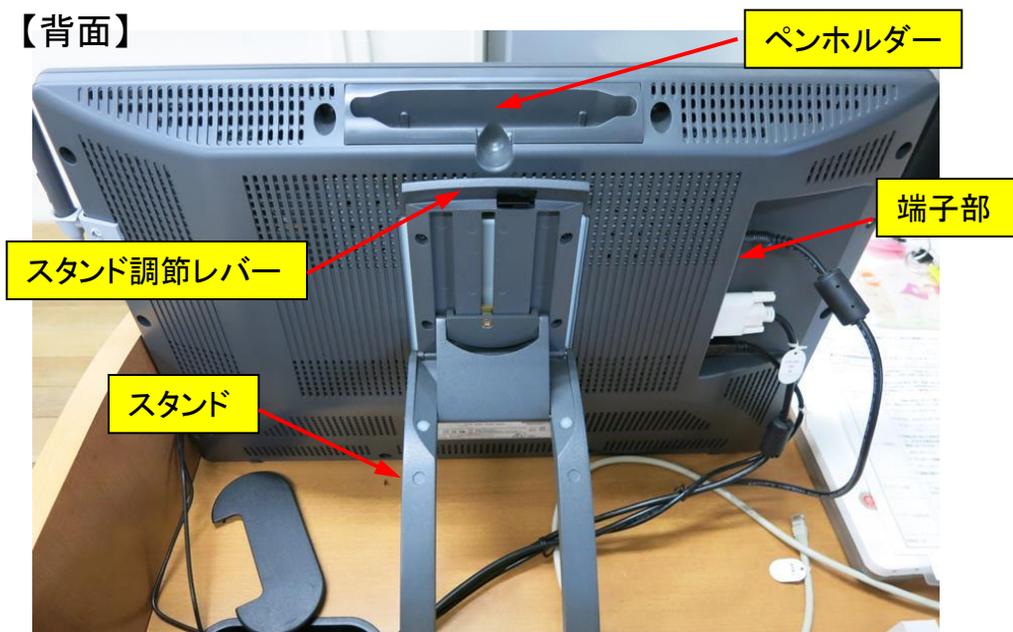
1. 各部の名称

【正面】



- ⚠ 表示ボタンは調整時に使用するものであり、通常は触れないでください。
- ⚠ ファンクションボタンは現在機能は設定していません、無効となっています。

【背面】



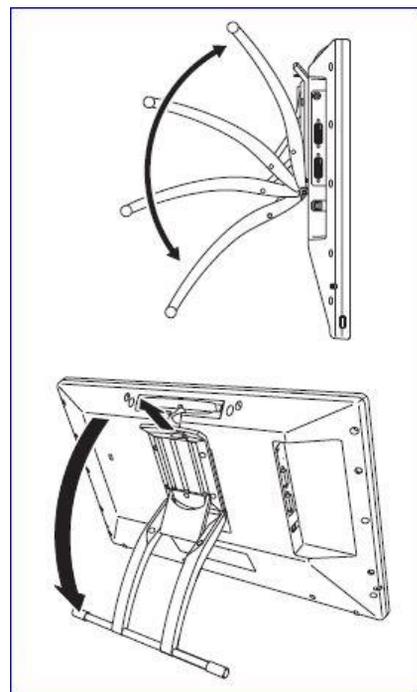
- ⚠ スタンドを持って、本体を持ち上げないようにしてください。スタンドが破損するおそれがあります。

5. タブレットモニターの操作(白板ソフト)

2. モニターの角度調整方法

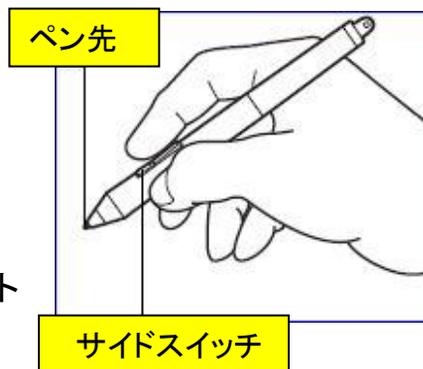
- (1) スタンドを開くには、スタンド調整レバーを引き上げてロックを外し、スタンドを外側に使いやすい角度まで開く。レバーから指を離すと、その位置でスタンドはロックされる。
- (2) スタンドを閉じるには、スタンド調整レバーを引き上げてロックを外し、スタンドを元の位置に静かに戻す。レバーから指を離すと、その位置でスタンドはロックされる。

- ⚠️ スタンドの可動部の隙間に、指を挟まれないように注意してください。
- ⚠️ スタンド調整レバーを引くときは、必ずスタンドに手を添えて支えてください。スタンドが倒れ破損やけが、故障の原因になることがあります。
- ⚠️ モニターを動かす場合、端子部のケーブルに力がかかったり、折れ曲がらないように注意してください。



3. 電子ペンの使い方

- (1) 電子ペンは通常のペンや鉛筆のように持つ。軽く画面に触れると、マウスの左クリックと同じ働きをし、クリック、ドラックなどの操作ができる。
- (2) サイドスイッチはあらかじめ設定した機能を働かせることができる。ただし、現在白板ソフトでは、設定していない。



- ⚠️ 本タブレットモニターには、通常のペンや鉛筆は使用できません。また、電子式のペンであっても、他機種では誤動作を起こすことがあるため、必ず本タブレットモニター付属の電子ペンを使用してください。

4. 電源のON/OFFに関して

タブレットモニターの電源は教卓の主電源と連動するため、ON/OFF操作は不要である。(未使用時は、オレンジ色のランプが点灯しているのが正常)

5. タブレットモニターへの出力映像に関して

本タブレットモニターは、常設PCのモニターとして使用しており、持ち込みPCやBDプレーヤーなど、他の機器の映像を映すことはできない。

5. タブレットモニターの操作(白板ソフト)

II 描画機能の使い方

以下は常設PCにインストールされた「白板ソフト」の基本操作を記述したものであり、種々の描画機能の中から、すでに作成済みの画像または、白板画像に手書き文字やマーキングを追加する機能に限定している。
なお、本ソフトは常設PC上で動作するため、描画の追加は常設PCで表示されたパワーポイントのスライド、または静止画像のみ可能である。

【適用教室】

レクチャーホール: 302、303

共通教育棟: 113, 208, 301~304, 308, 309, 311, 312, 402~404

1. 起動

- (1) 常設PCの電源を入れて立ち上げます。
- (2) デスクトップに作成された、白板ソフトのショートカットをダブルクリックすると、白板ソフトが起動して初期画面(メインメニュー)が表示されます。
- (3) 前回使用時に描画内容を保存した場合は、その内容が表示されるので、不要な場合は全画面消去を行ってください。(4項参照)

2. メインメニューの説明



ダイアログ: 保存や印刷、設定等のダイログを表示します。



虫眼鏡ボタン: 画面の一部を拡大表示します。



記録ボタン: 描画や操作を記録します。



はさみボタン: 囲んだ範囲を切り取り部品を作成します。



矢印ボタン: 部品を選択して移動や変形等を行います。



消しゴムボタン: ペンで書いた内容を消します。



通常のペン、作図ペンとバケツボタン: 画面に描画を行います。



ページボタンとページ番号: ページの切り替えや追加を行います。



ひとつ前の操作に戻し/進みます。

5. タブレットモニターでの操作(白板ソフト)

2. 背景の準備

(1) パワーポイントのスライドまたは、写真などの画像の上に描画する場合は、ファイルを読み込ませ、背景とすることができます。

- ① メインメニューのダイアログボタンを選択すると、ダイアログが表示されるので、ファイルを選択すると、ファイルの場所が表示されます。
- ② 背景のファイルを開こうとすると、ファイルダイアログが表示されるので、背景に設定を選択すると、現在のページに背景が追加されます。なお、画像ファイルは複数同時に開くことができ、この場合は、複数ページに背景が追加されます。
- ③ パワーポイントの場合は、自動的にスライドショーになり、メインメニューのページボタンでページ送りをすることができます。
- ④ 読み込み可能なファイル拡張子

パワーポイント: ppt, pptx

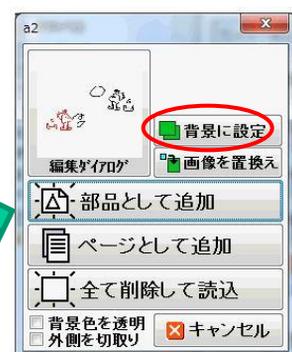
画像: jpg, jpeg, bmp, png



【ダイアログボタン】



【ダイアログ】



【ファイルダイアログ】

(2) パワーポイントのスライドおよび画像ファイル以外は、白板ソフトに取り込むことができないため、例えばワードで作成した文章の上に描画したい場合は、以下のようにします。

- ① 所定のソフトを起動させ、背景となる文書、画像などを全画面に表示させます。
- ② 白板ソフトを起動させ、ダイアログで透明を選択します。
白板ソフトの画面は透明かつ全画面表示となり、重ねて描画することができます。ただし、白板ソフト側から背景の文書や画像をコントロールすることはできません。

(3) 背景なしで電子白板として使用する場合は、白板ソフトを起動すると背景が白色となるので、そのまま描画することができます。画面を有効に使用したい場合は、ダイアログで全画面を選択します。また、ページ送りをすることで、複数画面に描画することができます。

(4) 白板の描画内容を保存した場合は、これを呼び出して背景とすることができます。

- ① 保存したUSBメモリを準備します。(共用PCのため、PC内には保存しない)
- ② ダイアログを表示させ、ファイルを選択して保存したファイルを開こうとすると、ファイルダイアログが出るので背景に設定を選択すると、保存したページが背景となります。(保存したファイルの拡張子はjpeg)

5. タブレットモニターの操作(白板ソフト)

3. 描画の基本操作

(1) 自由線の描画

- ① メインメニューで好みの色のペンボタンを選択して、電子ペンで描画します。(初期値は黒・赤・青)
白板ソフト起動時は、黒色を選択されているので、黒色でよければそのまま描画できます。



【ペンボタン】

- ② ペンの色やサイズ、種類を変えたいときは、選択中のペンボタンを再度押すと、ペンダイヤログが表示されるので、好みの色やサイズ、種類を選択してOKを押します。



【ペンダイヤログ】

(2) 水平・垂直線の描画

- ① ペンダイヤログで、直線マーカーを選択します。このボタンは押すたびに通常ペンと半透明なペンに切り替わります。
- ② 手書きで水平または垂直線を描画すると、完全な水平または垂直線に変換されます、なお、線が斜めになった場合は、この線を対角とする四角形に変換されます。

(3) 図形の描画

- ① ペンダイヤログで作図ペンを選択します。
- ② 形状の選択ボタンが表示されるので、好みの形状を選択して電子ペンをドラッグすると、指定された色で直線や円、四角形が作成されます。
- ③ ペンの太さは、2種類から選ぶことができます。



【ペンダイヤログ】

5. タブレットモニターの操作(白板ソフト)

(4) 塗りつぶしの描画

- ① ペンダイヤログで、バケツボタンを選択します。
- ② 形状の選択ボタンが表示されるので、手書き線で囲んだ範囲を塗りつぶす場合は、 または  (半透明)を選択し、電子ペンでドラッグすると囲んだ範囲が指定の色で塗りつぶされます。
- ③ 四角形または円で塗りつぶす場合は、 または  を選択し、電子ペンでドラッグすると、2点を対角線として図形を作成し、中を指定の色で塗ります。



4. 描画の消去

(1) 線や塗りこみ図形の一部消去

【ペンダイヤログ】

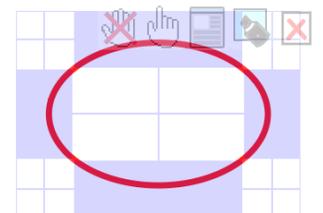
- ① メインメニューで、消しゴムボタン  を選択します。
- ② 電子ペンで消去したい線や図形の上をドラッグすると、その部分が消去されます。ただし、この操作は作図ペンを選択して描画した直線・四角形・円には無効です。
- ③ 消しゴムの大きさを変えたい場合は、消しゴムボタンを再度押すと消しゴムダイヤログが表示されるので、サイズボタンでサイズを選択します。



(2) 作図ペンで作成した直線・四角形・円は部品として入力されるため、以下の方法で消去します。

【消しゴムダイヤログ】

- ① メインメニューで矢印ボタン  を選択します。
- ② 電子ペンを図形の上に持ってきて押すと周りにサブメニューが表示されるので、 を選択すると消去されます。



(3) 全描画の消去

- ① メインメニューの消しゴムボタンを2回押します。
(既に消しゴムが選択されている場合は1回)
- ② 消しゴムダイヤログが表示されるので、ページをクリアを選択すると、現在のページ上にある全ての描画が消去されます。

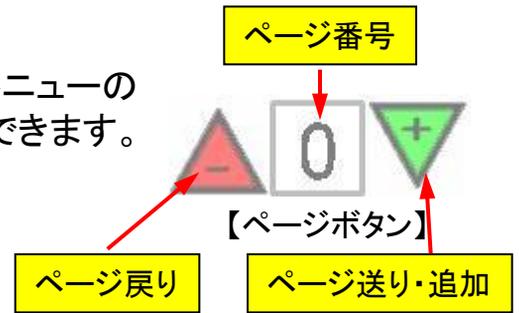
5. タブレットモニター の操作 (白板ソフト)

5. 描画ページの操作

(1) 描画のページを増やしたい時は、メインメニューの ページボタン でページを追加することができます。
(最大999ページ)

(2) ページ番号を押すとページダイアログが表示されるので、以下の操作を行うことができます。

- ① 新しいページの追加
- ② ページの削除
- ③ ページの移動(ページめくり)
- ④ 新しいページに背景の複写
- ⑤ ページ一覧の表示
- ⑥ 指定ページへの移動(数字を選択)



【ページダイアログ】

6. 描画ページの保存

(1) 白板ソフトの終了操作を行うと、ページを保存するかどうか聞いてきますが、これは必ず 保存なしで終了 を選択してください。
保存して終了 を選択すると、常設PCのシステムホルダーにページが保存されますが、次回白板ソフト起動時にこのページが表示され、共用PCのため、次の使用者がこのページを消去する必要があります。



【終了メニュー】

(2) 白板のみとして使用して、その描画内容を保存したい場合は以下のようにします。

① 保存用にUSBメモリを準備します。

⚠ 共用PCのため、常設PC内にフォルダーを作成して保存するのはおやめください。このようにしても、次回起動時に自動的に保存したページが表示されるため、次の使用者がこのページを消去する必要があります。

② メインメニューのダイアログボタンを押してダイアログを表示させ、別名保存 を選択します。さらに、サブメニューが表示されるので、別名保存(標準) を選択します。

③ USBメモリ上のフォルダーを指定し、保存します。
(保存するファイルの拡張子はjpeg)



【ダイアログ】